

「むかしの勉強・むかしの遊び」展

同展は、昭和30から40年代を中心とした教室・居間・台所や駄菓子屋の店先を、当館の収蔵資料で再現しています。川越を中心とした地域の人々の暮らしの様子や移り変わりが感じられる展示となっています。

今回は、実際に「触れる展示」として、教科書や遊び用ノート、ダイヤル式黒電話などの生活用品、さらに、夏の寝室の大定番、蚊帳にも直接触れることができます。「昔は○○で遊んだなあ」「○はこうやって使ったよ」など、会話も弾むのではないのでしょうか。「むかし」を知らない世代から、「むかし」をよく知る世代まで楽しめる今回の展示。

ぜひこのタイムスリップした世界で、ひとときの時間旅行をお楽しみください。

期間：2月25日(日)まで
 経費：入館料



最近あまり見かけなくなった蚊帳



当時の居間



当時の教室



ビオラ

寒い冬にかわいらしく咲き続けるビオラの花。初心者でも

育てやすく、冬のガーデニングには欠かせません。

「ビオラは花色が豊富で、気温の低いこの時期は、赤や黄、オレンジなど、暖かみのある色が特に喜ばれます」と話すのは、30年以上ビオラを栽培している山下徳弥さん(上松原)。色や形の良い、丈夫な株を育てるため、近所の平地林で集めた落ち葉を有機肥料にして、土づくりから取り組んでいるそうです。また、ポット(鉢)とポットの間隔を変えて風通しをよくしたり、水やりを調整して根腐れを防いだりと、一株一株大切に育てています。

ビオラを上手に育てるコツは、「つぼみの多い株を選び、咲き終わった後の花がらを摘む



ことで、きれいな花を長く咲かせることができますよ」と山下さん。また、花の形や大きさもさまざま、寄せ植えをすると組み合わせも楽しめるとのこと。山下さんのビオラは、市内のホームセンターで購入できます。

寂しくなりがちな冬の庭やベランダ、玄関などに、ビオラで明るい彩りを添えてみませんか。

この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜
 ホウレンソウ、コマツナ、ブロッコリー、ニンジン、イチゴ、サトイモ、サニーレタス、ネギ、ハクサイ



昨年12月27日、つばさ館の来館者数が30万人に達しました。記念すべき30万人目の来館者となったのは高田和彦さんと孫の齊藤大記くん(小学3年生)。館内を見学した後に感想を聞くと「給食を残さず食べて、ごみを出さないようにしたいです」と大記くん。ごみを減らそうという意識が高まったようです。



晴天のなか行われた今年度の成人のつどい。新成人の表情は、その青空以上に澄み渡り、明るい未来への希望でいっぱい。そんな新成人を見ていると、自分自身もたくさん刺激をもらうことができました。

編集後記
 どんぶり